SONY

2-687-967-**04** (1)

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この設置説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IPELA

SNC-CS10/CS11

© 2006 Sony Corporation Printed in China

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る。
- 長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口に相談する。
- 故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告 下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**、**落下**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。
壁面や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して大けがの原因となります。
また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。
設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

- ぐらついた台の上
- 傾いたところ
- 振動や衝撃のかかるところ

また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

レンズは確実に取り付ける

レンズはネジ部をしっかり締めて取り付けてください。
取り付けかたがゆるいと、レンズがはずれて、けがの原因となることがあります。
また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

規格にあったレンズを使用する

規格外のレンズを使用すると、レンズがはずれて、けがの原因となることがあります。

カメラ設置について

天井など高所に本機を設置する場合、確実に取り付けが行われないと本機が落下して、けがの原因となることがあります。ソニー製のブラケット、ハウジング、電動旋回台以外に本機を取り付ける場合は、次の項目をお守りください。

- 取り付けには三脚ネジを使用し、ハンドドライバーでしっかりと締めこむ。
  三脚ネジ（ソニー製品番号：3-174-693-01）をご希望の方は、お買い上げ店またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。
- 三脚用アダプターは、段差のない平面に取り付ける。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えたりすることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

設置説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

指定された電源電圧で使用する

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの設置説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルを傷つけない

電源コードや接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない
- 電源コードに重い物をのせたり、引っ張ったりしない
- 電源コードを熱器具に近づけたり、加熱したりしない
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご依頼ください。

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときなどはご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源コードやDC電源コード、本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

- ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- ネットワークカメラへのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。
- 諸事情による本ネットワークカメラに関連するサービスの停止、中断について、ソニーは一切の責任を負いません。
- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

特長

本機は、監視カメラに必要な機能を凝縮したコンパクトな箱型レンズ交換式ネットワークカメラです。本機の特長は次のとおりです。

- セキュリティ用途に最適なコンパクト箱型ボディ
- オートアイリスレンズとの組み合わせで、屋内・屋外を問わず適正な明るさの画像を提供
- 1/4インチ原色フィルタープログレッシブスキャンCCD を採用、色再現、解像度、感度が高いレベルでバランスした高品位画像を提供
- 多彩な電源入力方式に対応し、設置時の電源配線が容易
  SNC-CS10：AC24V/DC12V の2電源入力
  SNC-CS11：AC24V/DC12V/PoE の3電源入力
- 映像出力端子とフランジバック調整機能を搭載、設置時の画角・ピント調整が容易
- 2つの動画圧縮方式（MPEG4とJPEG）の切り換えができ、多彩な監視システム設計が可能
- 動画ビットレートの一定化機能を搭載、ネットワーク占有帯域と録画機の記憶容量とを正確に見積もり可能
- 音声の送受信が可能（SNC-CS11 のみ）
- 非球面レンズ採用の低収差バリフォーカルレンズ付属（SNC-CS11 のみ）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

使用上のご注意

使用・保管場所について

非常に明るい被写体（照明や太陽など）を長時間にわたって撮影しないでください。また、次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。

- 極端に暑いところや寒いところ（使用温度は–10 ℃～+50 ℃）
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- 振動や衝撃のあるところ
- 湿気、ほこりの多いところ
- 雨のあたるところ

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因となります。

輸送について

輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて

- レンズや光学フィルターの表面に付着したごみやほこりは、ブロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

レーザービームについてのご注意
レーザービームはCCDに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CCD表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

付属の説明書について

CD-ROMマニュアルの使いかた

付属のCD-ROMには、本機のユーザーガイド（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語）がPDF形式で記録されています。

準備

付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドを使用するためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。
Adobe Reader 6.0以上
Adobe Readerがインストールされていない場合は、次のURLからダウンロードできます。
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

Adobe、AcrobatおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

マニュアルを読むには

1　CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
表紙ページが自動的にWeb ブラウザで表示されます。
Web ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROM に入っているindex.htm ファイルをダブルクリックしてください。

2　読みたいマニュアルを選択してクリックする。
マニュアルのPDFファイルが開きます。
「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

ご注意
・Adobe Readerのバージョンによってファイルが正しく表示されないことがあります。
・「準備」の項のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。
・CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、ソニーのサービス担当者にご依頼ください（有料）。

主な仕様

圧縮方式

映像圧縮方式	JPEG/MPEG4
音声圧縮方式	G.711/G.726（40、32、24、16 kbps）
映像出力サイズ	640×480、480×360、384×288、320×240、256×192、160×120
最大フレームレート	MPEG4：30 fps（QVGA） JPEG：30 fps（QVGA）
Web ブラウザ	Microsoft Internet Explorer Ver. 6.0 （対応OS：Microsoft Windows 2000、Windows XP、Windows Vista）
コンピューター環境	CPU：Intel Pentium III、1 GHz 以上 （Pentium 4、2.4 GHz以上推奨） RAM：256 MB以上 表示サイズ：1024×768 画素
最大ユーザーアクセス数	MPEG4 mode：10ユーザー JPEG mode：20ユーザー

カメラ

撮像素子	1/4 型プログレッシブ転送方式 （総画素数：約35 万画素（692（H）×504（V））） （有効画素数：約33 万画素（659（H）×494（V）））
レンズマウント	CS マウント
同期方式	内部同期
水平解像度	400 TV 本（画像中心部）
映像S/N	50 dB（AGC OFF） ※ AGC OFF：ゲインアップ手動 0 dB 選択時
最低被写体照度	1.7 lx（TYP）（F1.0、50 IRE）（AGC ON） ※ AGC ON：ゲインアップ自動選択時
シャッタースピード	1 ～ 1/10000

レンズ（SNC-CS11 のみ）

焦点距離	3.0 ～ 8.0 mm
最大口径比	F1.0 ～ F1.4
画角	垂直：49.3° ～ 20.1° 水平：66.6° ～ 26.9°
最至近撮影距離	200 mm

インターフェース

ネットワークポート	10BASE-T/100BASE-TX（RJ-45）
I/Oポート	センサー入力：×1、MAKE接点 アラーム出力：×1（最大AC/DC 24 V、1 A） （メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁）
オートアイリスレンズ端子	DC制御
映像出力端子	TEST OUT（BNC型） 1.0 Vp-p、75 Ω 不平衡、同期負極性
マイク入力（SNC-CS11 のみ）	ミニジャック（モノラル） プラグインパワー方式対応（基準電圧2.5 V DC） 推奨負荷インピーダンス2.2 kΩ
ライン出力（SNC-CS11 のみ）	ミニジャック（モノラル）、最大出力レベル：1 Vrms

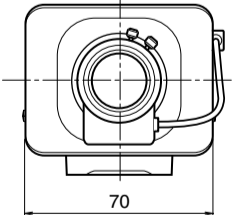
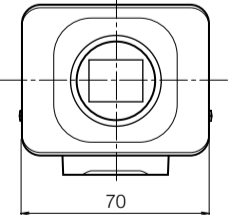
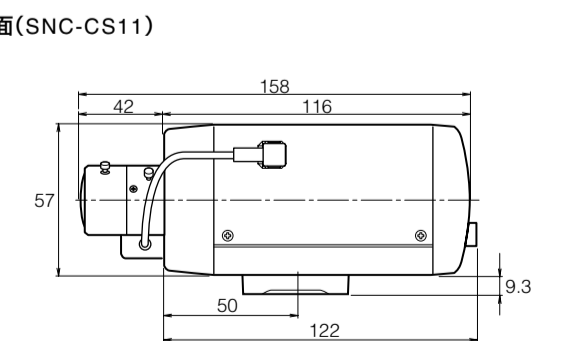
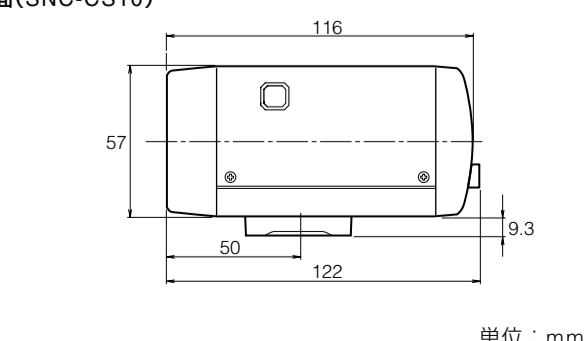
その他

電源電圧	DC 12 V ±10 % AC 24 V ±10 %、50/60 Hz PoE（SNC-CS11のみ）
消費電力	最大5.4 W
使用温度	−10 ℃～+50 ℃
保存温度	−20 ℃～+60 ℃
動作湿度	20～80 %
保存湿度	20～95 %
外形寸法（幅/高さ/奥行き） A	SNC-CS10：70×57×116 mm （三脚用アダプター、および突起部含まず。） SNC-CS11：70×57×158 mm （三脚用アダプター、および突起部含まず。レンズ含む。）
質量	SNC-CS10：約430 g SNC-CS11：約475 g
付属品	CD-ROM（ユーザーガイド、付属プログラム）（1） ワイヤーロープ（1） 段付きビスM4(1) 保証書（冊子）（1） 設置説明書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

定期点検のお願い
本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただくため、定期点検をお願いします。
外観上は異常がなくても、使用頻度によって部品が劣化している可能性があり、故障したり事故につながることがあります。
◆詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

補修用部品の保有年数
補修用性能部品は製造打ち切り後、7年間保有します。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

（裏面へ続く）

A

正面（SNC-CS11）　正面（SNC-CS10）

70　70

側面（SNC-CS11）

158　42　116　57　9.3　50　122

側面（SNC-CS10）

116　57　9.3　50　122

単位：mm

各部の名称と働き

前面 B

❶ **レンズ（SNC-CS11のみ）**
1/3型用バリフォーカルレンズを標準装備しています。

❷ **フォーカスリング（SNC-CS11のみ）**
N側へ回すと近いところに、∞側へ回すと遠いところにフォーカスが合います。

❸ **ズームリング（SNC-CS11のみ）**
T側へ回すと望遠、W側へ回すと広角になります。

❹ **フランジバック調整リング**
フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）を調整するリングです。

❺ **三脚用アダプター**
カメラ三脚などにカメラを固定するときに使用します。着脱可能のため、本体の上面、底面のどちらにも取り付けられます。

1/4 − 20 UNC
ℓ = 4.5mm 〜7mm
（ネジ締結状態にて）

ご注意
4.5 mm 〜 7mm 以外のネジを使用すると、取り付けが不安定になったり、本機の内部を損傷して故障の原因となることがあります。

❻ **LENS(レンズ)端子(4ピン)**
DC制御タイプのオートアイリスレンズに電源や制御信号を供給します。

❼ **レンズマウント部(SNC-CS10のみ)**
適応するタイプのCSマウントレンズを取り付けます。
Cマウントレンズを使用する場合は、Cマウント用アダプター（別売り）をお使いください。
（SNC-CS11はバリフォーカルレンズを標準装備しています。）

後面 C

❽ **⏚(アース)端子**
AC 24V用の筐体アースです。

ご注意
AC 24VまたはDC 12Vで電源供給する場合、本機の最大消費電力は5.4 Wです。電源許容量をご確認の上、接続してください。

❾ **LANポート（RJ45）**
ネットワークケーブル（UTP、カテゴリー5）を使用してネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX）に接続します。
PoE接続については、「電源の接続」をご覧ください。

❿ **I/Oポート**
外部センサー入力、アラーム出力端子として使用します。

ピン配列

ピンNo.	信 号	説 明
1	アラーム出力 −	最大AC/DC24V、1A メカニカルリレー出力、 本体とは電気的に絶縁
2	アラーム出力 ＋	
3	センサー入力 −	MAKE接点
4	センサー入力 ＋	

⓫ **(マイク入力)端子（ミニジャック、モノラル）（SNC-CS11のみ）**
市販のマイクを接続します。プラグインパワー方式（基準電圧2.5VDC）に対応しています。

⓬ **(ライン出力)端子（ミニジャック、モノラル）（SNC-CS11のみ）**
市販のアンプ内蔵スピーカーを接続します。

⓭ **落下防止用ワイヤーロープ取り付けネジ穴**
付属のワイヤーロープを取り付けます。

⓮ **POWER（パワー）インジケーター**
カメラに電源が供給されると、カメラ内部でシステムチェックを行います。
正常の場合はこのインジケーターが点灯します。
内部でシステムエラーが発生している場合は1秒ごとに点滅します。この場合は、お買い上げ店、またはお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

⓯ **NETWORK（ネットワーク）インジケーター**
ネットワークに接続されているときは緑色に点滅します。ネットワークに接続されていないときは消灯しています。

⓰ **TEST OUT（映像出力）端子（BNC型）**
本機の映像をコンポジット信号として出力します。

⓱ **NTSC/PAL切り換えスイッチ**
映像出力方式を切り換えます。
スイッチを切り換えたあと、本機を再起動してください。再起動後、映像出力方式が切り換ります。

⓲ **DC 12V/AC 24V（電源入力）端子**
DC 12VまたはAC 24Vの電源供給装置へ接続します。

⓳ **リセットスイッチ**
先の細いもので、このスイッチを押しながら電源を供給すると、工場出荷時の設定に戻ります。

設　置

⚠警告
落下事故防止のため、付属のワイヤーロープを必ず取り付けてください。

使用できるレンズ D

CSマウントレンズで、レンズマウント面からの突起が4mm以下のもの（重さは1 kg以下）が使用できます。
Cマウントレンズを使用する場合は、Cマウント用アダプター（別売り）をお使いください。
また、オートアイリスレンズをご使用の場合は、DCサーボタイプのレンズをお使いください。
オートアイリスレンズコネクター（別売り）の取り付けかたは、付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドの「オートアイリスレンズコネクター（別売り）の取り付け」をご覧ください。

カメラを設置する E

カメラを設置する際は、三脚用アダプターを利用して、カメラ三脚やハウジングに確実に取り付けてください。
三脚用アダプターは出荷時、底面に取り付けてありますが、カメラの設置場所に応じ、上面に付け替えることができます。

落下防止用ワイヤーロープの取り付け F

天井や高い場所にカメラを設置する場合は、落下事故防止のため、必ず付属の落下防止用ワイヤーロープを取り付けてください。
ワイヤーロープは、図のように付属の段付きビスで本機後面のワイヤーロープ取り付けネジ穴に取り付けます。

ご注意
ワイヤーロープを取り付ける際、ワイヤーロープが電源端子やケーブルとショートしないよう、配線にはご注意ください。

1 **天井のジャンクションボックスなどへワイヤーロープを取り付ける。**
ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジ（付属していません）をお使いください。

2 **付属の段付きビスで、ワイヤーロープを本機後面のワイヤーロープ取り付けネジ穴に取り付ける。**

⚠警告
取り付けには付属のネジをご使用ください。付属以外のネジをご使用になると、ワイヤーロープの機能が有効に働かない可能性があります。

接続

電源の接続 G

本機は、次の3通りの方法で電源を接続できます。
- DC 12V
- AC 24V
- IEEE802.3af準拠の電源供給装置（PoE*方式）（SNC-CS11のみ）
  * PoE: Power over Ethernet の略です。

ご注意
電源入力端子とLANポートの両方から電源が供給された場合、LANポートからの電源が優先されます。

Ⓐ DC 12VまたはAC 24V電源への接続
DC 12VまたはAC 24Vは、後面の電源入力端子に接続します。
- DC 12VまたはAC 24Vは、AC100Vに対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。
  DC 12V：10.8V〜13.2V
  AC 24V：21.6V〜26.4V
- DC 12VまたはAC 24Vの配線には、ULケーブル（VW-1 style 1007）を使用してください。
- AC 24V電源を使用する場合は、⏚(アース)端子に接地配線してください。
- 電源とカメラを接続するときの推奨ケーブルは次のようになります。

DC12Vの場合

ケーブル（AWG）	#24 (0.22mm)	#22 (0.33mm)	#20 (0.52mm)	#18 (0.83mm)
最大ケーブル長（m）	15	25	40	70

AC24Vの場合

ケーブル（AWG）	#24 (0.22mm)	#22 (0.33mm)	#20 (0.52mm)	#18 (0.83mm)
最大ケーブル長（m）	65	100	170	290

Ⓑ IEEE802.3af準拠の電源供給装置への接続（SNC-CS11のみ）
IEEE802.3af準拠の電源供給装置はLANポートを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

カメラの映像を見る

この設置説明書にしたがってカメラを正しく設置、接続したあと、付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドをご覧になって操作してください。